

カナデビアが日鉄エンジニアリングと経営統合に向けた検討を開始－帰すうをフォローし格付に反映

以下は、カナデビア株式会社（証券コード：7004）が日鉄エンジニアリング株式会社（証券コード：-）と経営統合に向けた検討を開始したことについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 2月5日、当社は日鉄エンジニアリングと27年4月の経営統合に向けた検討を開始したと発表した。当社を吸収合併存続会社、日鉄エンジニアリングを吸収合併消滅会社とする吸収合併を基本に検討を進め、今後決定される統合割当比率に応じて日本製鉄（長期発行体格付：AA、見通し：安定的）の上場関連会社または上場子会社になる可能性があるとしている。
- (2) 両社とも主力のごみ処理プラントの納入実績が豊富であり、経営統合が実現すれば、事業基盤の強化が見込まれる。また、日鉄エンジニアリングの財務内容を踏まえると、統合後においても財務の健全性を維持できる可能性は高いと考えられる。もっとも、経営統合の条件等は今後の検討事項であり、最終的な株主構成、業績・財務への影響などは現時点では見通せない。本件統合の帰すうをフォローし、格付に反映していく。

（担当）関口 博昭・山口 孝彦

【参考】

発行体：カナデビア株式会社

長期発行体格付：A- 見通し：安定的

発行体：日鉄エンジニアリング株式会社

長期発行体格付：#AA-/ネガティブ

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると暗示的であると問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遗漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であると問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関する何らの推奨をするものではありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っています。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等をすることは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル